

## 平成27年度 第2回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 平成27年10月20日(火)

午後1時30分～3時15分

場 所 神栖市役所 4階 第一委員会室

### ■出席者

委 員： 渡邊会長, 野村副会長, 野口委員, 山口(俊)委員, 羽生委員, 山口(二)委員,  
坂本委員, 松本委員, 樋口委員, 五十嵐委員 (10名)

事務局：伊藤企画部長, 山本課長, 高安課長補佐, 田中 (4名)

事務局以外：(株)日本コンサルタントグループ地域経営研究所  
山口室長, 中村研究員 (2名)

### ■欠席者 大塚委員, 小原委員

委 員：(2名)

### ■傍聴者 (定員10名)

0人

### ■会議内容

1 開会 議長開会あいさつ

2 諮問 神栖市生涯学習推進計画後期見直しに伴い, 企画部長より渡邊会長へ諮問書を手渡されました。

3 案件 (1) 神栖市生涯学習推進計画の後期見直しについて

アンケート結果や神栖市の地域の特性を踏まえ, 計画冒頭の「神栖市の現状と課題」「計画の基本的な考え方」「基本方針」「基本目標(めざす姿を実現するための取り組み)」についてまとめたものを, 日本コンサルタント(株)より説明しました。

### ◆意見等

議長：説明が終了しましたので意見, 質問を受け付けます。

委員：説明の中で「ヒアリング」とありましたが, どのように行ったものでしょうか。

事務局：10月5・6日に, 市民協働課(2名)と日本コンサルタント(株)(2名)で, 計画後半の施策別事業を担当している課等を対象にヒアリングを行いました。

委員：P2の14項目のうち, 「③仕事で役立つもの」とありますが, 具体的な内容を教えてください。

中村研究員：例えばWordやExcelなどのソフトの使い方を学ぶ講座や, 就職するにあたって必要な知識を学ぶ講座などのことを指しております。

委員：P7(1)に「参加意欲が低い市民」とありますが, 「低い」という言葉はマイナスイメージなので, 他の言葉に変えてはどうでしょうか。

**事務局**：「少ない」「薄い」などの言い方の表現を検討します。

**委員**：今回の計画の見直しは、平成23年に策定した計画について、5年経って達成したものはなくし、新たに入れて方がいいものは加えるといったマイナーチェンジのようなイメージでよろしいでしょうか。

**事務局**：はい。計画の根幹を変えるものではなく、施策の内容について見直すものです。

**委員**：P4(2)の「若い世代・退職後の男性の参加促進」についてですが、若い世代の方々は勉強をしなければならない事情や資格取得に本気で向き合わなければならない事情もあり、生涯学習に取り組むことが難しい方々が多いのではないのでしょうか。

**委員**：学校教育の現場からの意見ですが、学校の教育も大切ですが、児童・生徒たちには学校教育以外にボランティアなどにどんどん参加してもらって、地域の活動や社会貢献などを行ってほしいという思いがあります。また、色んな方たちと関わってコミュニケーションをとることも大切ですので、学校教育と生涯学習をうまくリンクさせてほしいと思います。

**議長**：特定の年齢層の方だけを重点的に行うものではなく、幅広い年代の方々に参加していただけるような施策にするべきでしょう。

**委員**：P6の「『生涯学習によるまちづくり』によってめざす神栖市の姿」の中に「生きる力」や「生き抜く力」という表現がありますが、違いを教えてください。

**委員**：「生きる力」がベースとなり、生きる力を活用して「生き抜く力」となっていくといったイメージではないのでしょうか。

**委員**：婚活を生涯学習に盛り込むことは必要ありませんか。

若い世代は出会いの機会が少ないので生涯学習を通じて機会が得られればいいのでは。

**中村研究員**：ヒアリングを行っていて、ある事業の中で神栖市の工場夜景を用いたツアーがありました。確かに重要な問題ですし、計画の中に加える検討をしてみます。

**議長**：他にご意見がないようですので、事務局には、本日委員より出た意見の整理をお願いします。

#### 4 報告 (1) 平成26年度神栖市生涯学習関連事業実施状況報告について

**事務局**：委員の皆さん方より事前にご意見・ご質問をいただいた実施状況報告内容につきまして、各課等より回答がありましたので、事務局より資料に沿って説明させていただきます。

**議長**：質問、意見26件の各回答説明が終了しましたが、質問を受け付けます。

**委員**：市の生涯学習の全体像が見える資料をいただきたい。「まなびアイかみす」には、掲載されていない事業もある。広報紙を使って募集している事業などは、広報紙のコピーなどを配布していただき、委員が全体像を把握できるようにしてほしい。

**事務局**：次回より都度していきます。

**委員**：花植え事業については、植える早さを競う競争のようになってしまっている。周囲の人々との交流や、花の植え方を知り、花を大切にしようと思う気持ちを育てることも大切だと思います。

**議長**：市の職員が説明・指導を行っていますが、エリア毎にボランティアの代表の方々に先導

役をお願いすれば、指導する人が増えるのではないのでしょうか。

**事務局**：今後検討していきます。

5 その他 次回の会議日程について事務局より説明あり。

6 閉会

**議長**：閉会あいさつ

— 午後3時15分 —